

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
日本史探究	2	A B C D E F	4	必修選択	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	詳説日本史(山川出版)
使用教材等	日本史重要語句 Check List【新課程版】(2024)(啓隆社)、新日本史要点ノド(応用編)【新課程版】(啓隆社)、新詳日本史 史料の基礎210選付(浜島書店)

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】日本の歴史の展開に関わる事象の意義、特色などを、年代、比較、現在とのつながりなどに着目し、多面的に考察したり、その課題を把握し解決方法を構想したりする力、それらを効果的に説明したり議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】課題解決に向けて探究しようとする態度を養い、日本史に対する愛情、他国の文化を尊重することへの自覚を深める。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境 【知】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 【思】自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現すること。黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 【態】原始社会の特色を理解し、多面的・多角的に考察し、時代を通観できるよう学習に取り組む。 (2) 歴史資料と原始・古代の展望 【知】原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 【態】資料を読み取る技能を身に付け、その情報から、原始・古代の特色について表現することができるよう学習に取り組む。	日本文化のあけぼの	【知】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解できている。 【思】自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。 【態】原始社会の特色を理解し、多面的・多角的に考察し、時代を通観できるよう学習している。 (2) 歴史資料と原始・古代の展望 【知】原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能が身に付いている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できる。 【態】資料を読み取る技能を身に付け、その情報から、原始・古代の特色について表現することができるよう学習に取り組んでいる。
2	(3) 古代の国家・社会の展開と画期 【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、政治・社会や文化の特色と、これにつづく貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編、古代の社会と文化の変容を理解する。 【思】小国から古代国家形成の過程について、大陸との関係、中国王朝との関係と日本への影響などに着目し、古代国家・社会の変容について、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、事象の意味や意義、関係性などを多面的に考察し、歴史事象の解釈や画期などを根拠を示して表現する。 【態】古代の社会と文化の変容について理解し、事象について表現できるよう学習に取り組む。 (4) 中世への転換と歴史的環境 【知】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 【思】権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容と中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 【態】古代から中世への時代の転換を理解し、中世の特色について表現できるよう学習に取り組む。	古墳とヤマト政権 律令国家の形成 貴族政治の展開	(3) 古代の国家・社会の展開と画期 【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、政治・社会や文化の特色と、これにつづく貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思】小国から古代国家形成の過程について、大陸との関係、中国王朝との関係と日本への影響などに着目し、古代国家・社会の変容について、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、事象の意味や意義、関係性などを多面的に考察し、歴史事象の解釈や画期などを根拠を示して表現できる。 【態】古代の社会と文化の変容について理解し、事象について表現できるよう学習に取り組んでいる。 (4) 中世への転換と歴史的環境 【知】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 【思】権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容と中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。 【態】古代から中世への時代の転換を理解し、中世の特色について表現できるよう学習に取り組んでいる。
3	(5) 歴史資料と中世の展望 【知】特徴的な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思】歴史資料の特性を踏まえて読み取れる情報から、中世の特色について多面的に考察し、仮説を表現する。 【態】歴史資料を読み取る技能を身に付け、中世の特色について表現できるよう学習に取り組む。 (6) 中世の国家・社会の展開と画期 【知】武家政権の成立と展開、産業の発達、政権の伸張、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 【思】公武関係の変化、大陸との交流と経済や文化への影響、中世の国家・社会の展開、東アジアの国際情勢、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを多面的に考察し、諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現する。 【態】中世社会の特色とその変容について理解し、諸事象を多面的に表現できるよう学習に取り組む。	院政と武士の躍進 武家政権の成立 武家社会の成長	(5) 歴史資料と中世の展望 【知】特徴的な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付いている。 【思】歴史資料の特性を踏まえて読み取れる情報から、中世の特色について多面的に考察し、仮説を表現できる。 【態】歴史資料を読み取る技能を身に付け、中世の特色について表現できるよう学習に取り組んでいる。 (6) 中世の国家・社会の展開と画期 【知】武家政権の成立と展開、産業の発達、政権の伸張、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思】公武関係の変化、大陸との交流と経済や文化への影響、中世の国家・社会の展開、東アジアの国際情勢、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを多面的に考察し、諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現できる。 【態】中世社会の特色とその変容について理解し、諸事象を多面的に表現できるよう学習に取り組んでいる。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。